

第2号様式（第12条関係）

鉦物掘採等行為届出書

年 月 日

（あて先）春日井市長

届出者

住 所

氏 名

（電話 _____）

（法人にあっては、その名称及び代表者の氏名）

春日井市自然環境の保全を推進する条例第19条第1項の規定により、次のとおり行為をしたいので届け出ます。

行為の目的		
行為の種類		
行為を行う場所	春日井市	
行為を行う場所及びその付近の状況		
土地の所有者又は管理者の住所及び氏名		
行為の内容、方法等		
行為の期間（予定日）	着 手	年 月 日
	完 了	年 月 日
行為を行う面積	(A) _____ m ²	
緑地の配置計画	保全緑地 (B)	面積 _____ m ² % ([B/A] × 100)
		回復緑地 (C)
	緑地合計 (D) (D = B + C)	面積 _____ m ² % ([D/A] × 100)
備 考		

備考

- (1) 届出者の氏名欄に、法人にあっては、かっこ書きで実務責任者の所属部課名、職名及び氏名ならびに所属部課の電話番号を記入すること。
- (2) 行為の目的欄の記入は、次のとおりとする。
例：家屋の増築、住宅用地の造成、果樹園のための開墾
行為の目的が2以上にわたっているものについては2以上の行為の目的を記入すること。
- (3) 行為の種類欄の記入は、次のとおりとする。
例：宅地の造成、土地の開墾、鉱物の採取、土石の採取、水面の埋立
行為の種類が2以上にわたっているものについては2以上の行為の種類を記入すること。
- (4) 行為を行う場所及びその付近の状況欄の「その付近」とは周辺1キロメートルで足りる。また、この欄には、地形、植生、野生動植物等の自然環境についての記入し、必要に応じ写真を添付するものとする。
- (5) 行為の内容、方法等の欄の記入は、保全緑地の設け方、回復緑地の設け方等の自然環境への配慮事項も併せて記入すること。
- (6) 行為の内容、方法等の欄の記入は、次に掲げる事項について記入するとともに、保全緑地の設け方、回復緑地の設け方等の自然環境への配慮事項も併せて記入すること
 - ア 鉱物を掘採し、又は土石を採取する行為
鉱物又は土石の種類、掘採又は採取方法、掘採又は採取の量、掘採又は採取の設備、掘採又は採取後の土地の形状、関連行為の概要
 - イ 宅地を造成し、土地を開墾し、その他の土地の形質の変更する行為
土地の形状変更の原因となる行為、工事の方法、変更後の土地の形状、関連行為
- (7) 行為を行う面積欄は、全て実測面積を記入すること。
- (8) 保全緑地及び回復緑地は、計画平面図で明確にするものとする。
- (9) 記入事項は、簡潔明瞭とし、多岐にわたる場合は別紙とすること。
- (10) 備考欄には、他法令の許可、認可、届出についての進ちょく状況を記入すること。
- (11) 自然公園の区域等条例第19条第1項で適用を除外されている区域（以下「自然公園等の区域」という。）にまたがる行為について、届出書に記入する数字は、自然公園等の区域を含む全体計画の数字をかっこ書きとし、自然公園等の区域以外の計画の数字をかっこなしとして記入するものとする。この場合の添付図面は、自然公園等の区域を赤線で明確に図示した全体計画の図面とする。
- (12) 届出書の記入事項が届出後に変更されるものについては、新規の届出をするものとする。